令和６年度事業報告

【公益目的事業１：県内の河川及び湖沼における水産資源の増殖促進に関する事業】

１　増殖促進事業

（１）助成

河川及び湖沼の水産資源の増殖を促進するために実施する淡水魚介類の種苗の放流（アユ、ヤマメ、ウナギ等）及び水産資源の確保等（淡水魚介類の産卵場造成等）のための事業に対し、事業費の一部を助成した。

近年、県内における河川や湖沼を取り巻く環境は、河川工事、自然流水量の減少等により自然生態系が大きく変化し、水生動物等の生息環境が著しく損なわれ、魚類等の水産資源が年々減少している。当法人は、内水面漁協の行う事業に対して助成を行うことにより、水産資源の保護増殖、河川及び湖沼の環境改善に寄与している。

決算額：７，８１８，０００円

［実施状況］

ア　実施主体：千代川漁業協同組合

・概要：アユの稚魚 810 kg放流、アユの産卵場造成

・事業費（うち助成費）：2,555,000 円（2,347,000 円）

イ　実施主体：天神川漁業協同組合

・概要：アユの稚魚 15 万尾放流、ヤマメの成魚 450 kg放流、渓流魚の産卵場造成

・事業費（うち助成費）：3,498,000 円（1,393,000 円）

ウ　実施主体：日野川水系漁業協同組合

・概要：ヤマメの成魚 1,650kg 放流、ヤマメの稚魚 21,650 尾放流、アユの産卵場造成

・事業費（うち助成費）：5,264,710 円（2,671,000 円）

エ　実施主体：湖山池漁業協同組合

・概要：フナ採卵・孵化 50,000 尾放流、ウナギの稚魚 30 kg放流、シラウオ、エビ等の産卵場造成、シジミ漁場清掃及び孵化放流

・事業費（うち助成費）：909,287 円（704,000 円）

オ　実施主体：東郷湖漁業協同組合

・概要：ウナギの稚魚 60 kg放流、フナの稚魚 30,000 尾放流、エビ、シラウオ等の産卵場造成、漁場整備、湖底耕うん

・事業費（うち助成費）：1,024,000 円（703,000 円）

（２）調査等

河川及び湖沼における水産資源の保護増殖、生態系の維持及び保全、また環境保全等のための調査等を実施した。

この調査により、県内の河川及び湖沼における水生動物、漁場等の状況を把握することができるほか、結果をホームページ上に掲載して広く社会一般に公表するため、関係機関のみならず遊漁者等への情報提供に繋がっている。

決算額：７９３，０００円

［実施状況］

ア　年間水温調査（県委託事業）

県内主要３河川における水温記録装置による年間水温の測定結果のデータを回収。

イ　遊漁者数調査（県委託事業）

県内主要３河川の各代表地点での遊漁者数のカウント、状況調査。（６月から９月）

ウ　アユ放流状況調査（県委託事業）

千代川漁協と天神川漁協のアユの放流状況等について聞き取り、結果を地図化。

【公益目的事業２：県内の河川及び湖沼における水生動物等に親しむ機会の提供の促進に関する事業】

２　ふれあい事業

（１）助成

県内の市町村、非営利団体、内水面漁協が河川又は湖沼において実施する地元の住民を中心とした魚のつかみ取り、放流等の事業（祭りやイベント内での実施も可）に対し、事業費の一部を助成した。令和６年度は12実施主体が事業を実施した。

近年、水生動物等に親しむ機会が希薄しているため、本事業の役割はますます重要であると考える。この事業を通じて、内水面に関心を持ってもらうとともに、環境に対する理解を深めてもらうほか、生態系の保全・維持の重要性を周知している。

決算額：４１７，０００円

［実施状況］

ア　実施主体：鳥取市

・概要：地域の児童19名によるヤマメの稚魚放流。

・効果：児童が川や魚とふれあうことで、魚や川に関する関心を深めることができた。

・事業費（うち助成費）：30,000円（15,000円）

イ　実施主体：八頭町

・概要：町内園児約50名（３保育所）によるヤマメの稚魚放流。

・効果：水産資源の保護及び増殖を図るとともに、豊かな自然環境の中で水や魚に親しむ機会となった。

・事業費（うち助成費）：100,000円（50,000円）

ウ　実施主体：河原町あゆ祭企画実行委員会

・概要：中学生以下の参加者約500名によるアユのつかみ取り。

・効果：水や魚に親しむことの楽しさを体験、魚の豊かな川づくりを推進する機会となったほか、河原地域のまちづくり、商工産業の活性化に繋がった。

・事業費（うち助成費）：356,400円（50,000円）

エ　実施主体：国府フィッシングフェスタ実行委員会

・概要：参加者約1,500名によるヤマメ釣り。

・効果：豊かな自然の中で魚や川に対する関心を深める機会となったほか、県内外から多数参加があったことから、国府地域の活性化に資することができた。

・事業費（うち助成費）：1,012,000円（50,000円）

オ　実施主体：小鷲河ふる里をまもる会

・概要：参加者約200名によるヤマメのつかみ取り、淡水魚の生態観察。

・効果：親子のふれあいの場となったほか、自然環境の大切さ、河川に生息する生き物について学ぶことができた。

・事業費（うち助成費）：114,161円（50,000円）

カ　実施主体：智頭町親水公園連絡協議会

・概要：町内児童20名によるヤマメのつかみ取り、河川学習会。

・効果：自然環境の大切さや生態系のつながりを学ぶことができたほか、自然の中で楽しむことの素晴らしさを体験することができた。

・事業費（うち助成費）：22,311円（11,000円）

キ　実施主体：天神川漁業協同組合

・概要：参加者11名によるヤマメのつかみ取り。

・効果：川魚を素手でつかむ、友達と協力し合って追い込む、何度も挑戦してつかみ取るなど日常生活では得難い体験をすることができた。

・事業費（うち助成費）：66,000円（33,000円）

ク　実施主体：高勢地域協議会

・概要：地域住民等約60名によるイワナのつかみ取り。

・効果：豊富できれいな水や生き物、環境保全への関心を高めることができた。

・事業費（うち助成費）：50,000円（25,000円）

ケ　実施主体：竹田地域協議会

・概要：地域児童等約40名によるヤマメのつかみ取り。

・効果：豊富できれいな水や生き物、環境保全への関心を高めることができた。
・事業費（うち助成費）：50,000 円（20,000 円）

コ　実施主体：みささ村地域協議会
・概要：地域住民等約 130 名によるヤマメのつかみ取り。
・効果：三徳川の魅力を再認識する機会となったほか、魚の棲むきれいな川づくりへの意識が高まった。
・事業費（うち助成費）：50,000 円（25,000 円）

サ　実施主体：江府町観光協会
・概要：小学生以下の参加者約 450 名によるアユのつかみ取り。
・効果：地域の伝統行事の関連事業として行っていることから住民交流の場となったほか、魚や水に親しむ機会を提供することで河川美化の啓発を図ることができた。
・事業費（うち助成費）：180,000 円（50,000 円）

シ　実施主体：日野川水系漁業協同組合
・概要：地域の園児 33 名によるサケの稚魚体験放流。
・効果：豊かな自然環境の中で水や魚に親しむ機会となったほか、水産資源の保護増殖、漁業振興の活性化に繋がった。
・事業費（うち助成費）：76,500 円（38,000 円）

【公益目的事業３：県内の河川及び湖沼に関する水産資源の保護培養のための普及啓発に関する事業】

３　普及啓発事業

（１）現地研修会の開催

内水面に関わる利害関係者（一般県民、行政、漁業関係者等）が内水面における水産資源の実情を認識し、正しい専門知識を身につけ効果的な事業の実施及び信頼を深め協力体制の構築に繋がる機会を提供するため、各関係者が情報共有、学ぶ機会となる現地研修会を鳥取県と共同で開催した。

［開催状況］

令和６年度内水面漁業振興現地研修会

「アユもエビもカニも上る！小わざ魚道の作り方（天神川編）」

・日　時：令和７年１月 22 日（水）午前 10 時から午前 10 時 58 分まで
・場　所：倉吉市下田中町地先　郡山大口堰
・参加者：国土交通省、鳥取県、内水面漁協組合員等 24 名
・概　要

〇説明「郡山大口堰について」
説明者　岡﨑大樹氏（鳥取県農林水産部水産振興局水産振興課水産技師）

〇講演「水辺の小わざ魚道の施工について」
講師　畑間俊弘氏（山口県水産研究センター内海研究部専門研究員）

〇魚道内での施工説明等

（２）マップの作成

天神川水系川マップ、日野川水系川マップ、湖山池マップ、東郷池マップを最新の情報に修正し、各関係機関（内水面漁業協同組合、市町村、遊漁証取扱先等）に配布した。

また、このマップを多くの方に幅広く活用してもらうため、ホームページに掲載し、内水面に関する規則等の情報を発信した。

決算額：１１６，０９８円

［作成状況］

作成部数合計：3,940 部
（天神川水系川マップ 1,680 部、日野川水系川マップ 2,130 部、湖山池マップ 90 部、東郷池マップ 40 部）